

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

606-421

事務事業名	農業振興地域整備促進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	3	11	1	1,739
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	47 計画的な空間利用の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		済み						
		事業期間	S46	年度～	年度							
						関連計画	農業振興地域整備に関する法、飯田市基本構想・基本計画、農地法、国土利用計画飯田市計画、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備推進審議会条例					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	農業振興地域	農業振興地域の面積 (ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			15255			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	振興計画を策定する 優良農用地区域を保全する	農業振興地域農用地区域の面積 (ha)	18目標	3409	最終目標	
		18実績	3410	19目標	3395	
		23目標	3380	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	平成16年度から平成18年度において取り組む、土地利用総合計画策定事業に合わせて、新たな農業振興地域整備計画を策定する。 農業振興地域整備計画に基づき、農業振興を目的とした土地の利活用ができる、農用地区域の確保、保全を行なう。	各地区が策定した農業ビジョンを反映させ、農業振興地域整備計画の変更素案を作成の上、関係機関、団体からの意見聴取や県・国との調整を行ない、変更案を農振審議会へ諮り法定 手続きの準備を進める。 農業振興地域整備計画の管理(農用地区域の除外・編入・農 業用施設への用途区分変更など)	農振審議会開催回数 一般管理の審議対象案件数	6回 132件
	18年度の実績	(一般管理) 農業振興地域整備計画の一般管理(農用地区域の除外・編入・農 業用施設への用途区分変更など) 県との協議、公告・縦覧等法定手続きをとり農振計画を変更する。 (特別管理) 新たな農振計画において農業振興の方向性を定めるとともに面的に保全すべき農地を明らかにし維持・活用の方策、投下すべき事業の計画を作成する。また、担い手確保のため、農業者等の組織化を進めるための計画等を作成する。	一般管理の審議対象案件数 関係団体との協議、農振審議会開催回数	100件 4

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	5	
一般財源	3,634	1,739	
事業費計(A)	3,639	1,739	
人件費	正規職員所要時間	18年度 6,000	19年度 6,000
	臨時職員等所要時間	2,000	
	人件費計(B)	23,606	21,456
	トータルコストA+B	27,245	23,195

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	良好な営農環境の維持により農業産出額を上げる 秩序ある土地利用の推進	農作物の作付延べ面積 (ha)	現状値	2640	19実績	2640
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
		農業生産額(億円)	現状値	119.3	19実績	119.3
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>昭和44年農業振興地域の整備に関する法律の施行による。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>市街地の無秩序な拡大と遊休農地の増加により、農用地に対する開発が進み、まとまった優良な農用地が減少している。これにより、農業への影響が懸念されている。こうした状況を踏まえ、土地利用計画の見直し作業が始まっており、これに連動させて、農業振興地域整備計画の見直し作業に取り組んでいる。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>議会でも、今までの規制と誘導の方法、開発のあり方に問題があると考えており、土地利用計画特別委員会を設置し、土地利用のあり方が検討されている。</p>
---	---	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>農用地区域の保全是農作物の生産基盤維持に結びつく。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>農用地区域の保全是農業振興上の役割を負うとともに、土地利用計画の一端も担っていることの重要性についての市民的理解を得ることにより、成果の向上は可能である。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>農振法第12条の2、及び第13条第1項に従い、農業振興地域整備計画を平成19年度に変更し農振農用地区域の見直しを行う必要がある。</p>	<p>有効性評価</p> <p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>農業上の土地利用と非農業上の土地利用の調整がとれず、その結果として優良農用地の潰廃や非計画的な土地利用が振興する。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>優良かつ集団的な農用地区域は効率的な農業生産の基盤であるため。</p>	<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>農振法により行政が執る事務に定められている。</p>	<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>19年度の農振計画変更に向けた作業を進めるため、事業費、人件費の削減はできない。</p>
			<p>公平性評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>私的財産に公共の見地から規制をかける側面を持った事業であり、受益者負担を求めることはできない。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>農用地区域からの除外基準を遵守し農用地を確保・保身に努めている。各地区農を考える会を立ち上げ、農業ビジョン策定に向け検討を行っている。</p> <p>農地の保全・利活用は農業振興策と結びついており、担い手を確保し農業者の意欲を引き出す施策が必要である。また、農を身近なものとする暮らし方の提案、コミュニティ活性化のための農地活用ほか、様々な手法を考える必要がある。私的財産への規制的側面があるが、農地を確保することが持続可能な地域経営に欠かせないことを説明し、適切なゾーニングを行う。</p>
---	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	